



平成 23 年 4 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 極 洋
 代表者名 代表取締役社長 多 田 久 樹
 (コード番号 1301 東証第一部)
 問合せ先 企 画 部 長 上 島 幹 雄
 (TEL. 03-5545-0703)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

東日本大震災による災害損失として特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ平成 22 年 10 月 25 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

なお期末配当金につきましては、今回の業績予想による変更はありません。従来どおり、1 株あたり 5 円の配当を予定しております。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	160,000	2,300	2,200	900	8.51
今回修正予想(B)	163,000	1,600	1,800	200	1.89
増減額(B-A)	3,000	△700	△400	△700	
増減率(%)	1.9%	△30.4%	△18.2%	△77.8%	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	145,778	2,180	2,550	1,086	10.27

(2) 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	143,000	2,100	2,100	900	8.51
今回修正予想(B)	148,000	2,100	2,200	700	6.63
増減額(B-A)	5,000	—	100	△200	
増減率(%)	3.5%	—	4.8%	△22.2%	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	133,674	1,880	2,265	1,115	10.54

2.修正の理由

売上高につきましては、水産商事事業セグメントにおいて各魚種とも加工原料や付加価値製品の積極的な拡販を行ったこと、また当期新たに当社グループに加わった連結子会社が売上の拡大に貢献したことなどにより前回公表予想を上回る見込みとなりました。

一方、物流サービス事業セグメントにおける冷蔵運搬船事業で市況の低迷が長期化したこと、鰹・鮪事業セグメントにおける海外まき網事業でかつおの魚価が想定を下回ったことなどにより、連結業績予想の営業利益、経常利益は前回公表予想を下回る見込みとなりました。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による災害損失として極洋単独で4億43百万円、連結で6億22百万円を特別損失に計上いたします。

以上により、平成22年10月25日に公表した通期業績予想を修正いたします。

3.東日本大震災による災害損失について

(1)建物、設備等に対する被害について

当社塩釜研究所(宮城県塩竈市)及び当社連結子会社の極洋食品(株)本社工場(宮城県塩竈市)、八戸工場(青森県八戸市)、ひたちなか工場(茨城県ひたちなか市)が被災し、それぞれ建物、設備等の修繕が必要となりました。固定資産の除却損及び修繕費用として、極洋単独で80百万円、連結で1億37百万円を見込んでおります。

なお、被災した当社塩釜研究所、極洋食品(株)の各工場は操業を順次再開しております。

(2)棚卸資産に対する被害について

上記極洋食品(株)の各工場、その他社外製造委託工場、被災地で営業する冷蔵庫などで保管、輸送中、並びに製造作業中であった商製品、原材料など棚卸資産の一部において、冷蔵庫内の荷崩れ、停電による解凍・破損事故、津波による冠水・流出などで損害を被りました。被害額として、極洋単独で3億58百万円、連結で4億79百万円を見込んでおります。

(3)被災地支援について

被災者及び被災地への支援費用などとして極洋単独、連結ともに5百万円を見込んでおります。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上